

視障協だより

第272号

令和4年5月発行

社会福祉法人長野県視覚障害者福祉協会

事務局 〒390-0802 長野県松本市旭2-11-39

電話 0263-32-5632

FAX 0263-32-7854

理事長より	1
事務局より	2
音訳事業部より	3
事業推進委員会だより	
令和3年度会員事業費決算報告	5
啓発広報部より	6
情報機器研究部より	6
女性部より	7
「弱視問題対策委員会」からの報告	8
プレゼントクイズコーナー	9
訃報	11

理 事 長 よ り

理事長 青木 勝久

会員の皆様、コロナに負けず頑張っておられますか？

あはき委員会や全国団体長会議、令和4年度団体提出議案、職業分科会などにオンライン出席していますが、視覚障害者の職業について(あはき師の場合)新型コロナで患者が減っている現在の状態を何とかできないのか？などの意見が出されています。日視連でも厚労省などへ陳情を続けておりますが、なかなか動いていただけないというのが現状のようです。これからも良い案がないのか話し合いを続けていくようです。

県内では「飯田お練りまつり」「善光寺御開帳」「諏訪大社御柱祭」などが開催されております。「飯田お練りまつり」は無事終了し、後の2つは感染防止策を続けながら開催されております。少しずつではあります、通常の生活に戻そうと皆さん頑張っておられます。

本会も、第73回長野県視覚障害者福祉大会の開催を目指して事業推進委員が色々と考えを巡らせております。現段階ではまだまだコロナの感染が治まっておりません。開催に向けて頑張ろうとは思いますが、コロナの感染にも気を付けながら開催の判断をしてまいりたいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

さて、2月の「視障協だより」に弱視分科会の委員をお願いしている坂田さんより「こんなに大変なものだとは思わずに引き受けてしまいました」という文章が掲載されております。メールやオンラインは家にて参加しやすいとは思いますが、あまりにも数多くのメールが届いたり致しますとうんざりしてしまいます。何となく主催する方の個人的な活動が入り込んできているようにも思います。それに、土曜日の会議もあるようなので、日視連の組織部にも相談して、最小限のメールにさせていただくようお願いをしてみますので、もうしばらくお待ちください。

3月の末には「BLE路側機」の説明会にご参加いただきまして、ありがとうございました。私は、スマートフォンを持っておりませんので参加はいたしませんでした。信号機が24時間音声で案内していただけるのは、素晴らしいことだと思います。でも、スマートフォンユーザーにのみ使

えて、「ガラ携」には使えないというのは如何なものかと思ひます。読売新聞から取材があり「視覚障害者協会の希望により設置したと県警では言っておりましたが、ご感想は如何ですか？」と聞かれましたので、「24時間使える信号機を増やしてほしい」とはお願いしましたが「BLE路側機」を増やして欲しいとはお願いしておりません。令和4年度は県内8か所に設置するようですが、会員の皆様のご意見ご要望を事務局までお知らせください。これからの要望に活かしていきたいと思ひます。

5月31日と6月1日に名古屋で開かれる全国大会にも私はオンラインで参加することに致しております。大会の様子はYouTubeでも配信されるようですが、詳しいことにつきましては支部長さんにご連絡致します。

それでは、6月26日の「長野県視覚障害者福祉大会」で皆様にお会いできることを願っております。

事 務 局 よ り

【賛助会費納入について】

日頃は協会の充実と発展にご協力を賜り、深く御礼申し上げます。

令和3年度は、46,500円の尊いお気持ちを寄せていただきました。

コロナ禍にあり、厳しい状況とは存じますが、出来るだけ多くの方にご協力賜りますようお願い申し上げます。

つきましては、郵便局の振込用紙を同封いたしますので、ご協力よろしく願いいたします。(同封の振込用紙は賛助会費以外の送金にはご利用いただけません)

なお、本年度既にご協力いただきました皆様には、ご容赦下さい。

音 訊 事 業 部 よ り

1. ごあいさつ

風薫る5月、皆様いかがお過ごしでしょうか。7年に1度の行事、善光寺の「御開帳」と、諏訪大社の「御柱祭」が開催されています。重なるのは戦後初、新型コロナウイルスの影響で御開帳が1年延期となったためだそうです。今年は感染防止対策として、善光寺回向柱には、抗ウイルス・抗菌効果のある光触媒のコーティング剤を塗るなどし、御柱祭は木落しなどは見送り、いつもとは違う形の開催になっているようです。未だ感染者が減る傾向は見えませんが、私たちの暮らしそのものも、この2つの催しのようにコロナウイルスと“共に生きる”ことを前提にしていかななくてはならないのかもしれないかもしれません。

そんなコロナ禍ではありますが、今年度も新人の音訊ボランティアの方々の養成講座が始まりました。皆様に質の良い録音図書をお届けするために、約半年かけてじっくり学んでいただきます。録音図書をご利用いただく皆様のために1冊でも多くの録音図書が増えるよう努力してまいります。

さて、今月の新作録音図書をご紹介します。他にもお聞きになりたい図書がございましたら、是非リクエストをお待ちしています。

2. 今月のおすすめ新作録音図書

1 初詣で 照降町 四季(一)

さえき やすひで
佐伯泰英 著

雪の照降町に「鼻緒屋」の娘、佳乃よしのが帰ってきた。男と駆け落ちして3年。父は病に伏していた。父に替わり職人の腕を磨く佳乃は次第に認められていく。そんな時、駆け落ちした男が現れる。

2 在宅ひとり死のススメ

うえの ちづこ
上野千鶴子 著

ひとり暮らしの72歳の著者が、認知症になっても慣れ親しんだ自宅で、幸せな最期を迎える方法を自分のこととして書いている。

3 古本暮らし

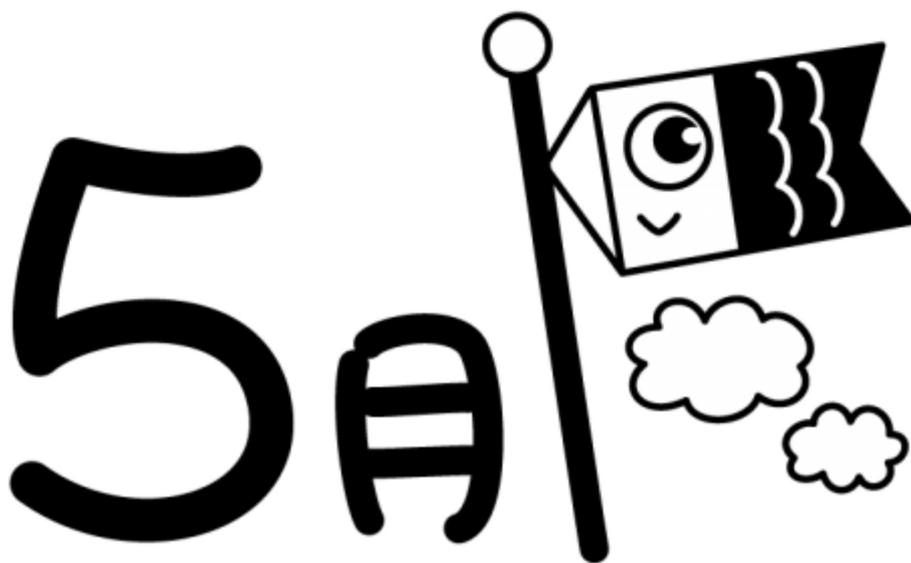
おぎはらぎょらい
萩原魚雷 著

古本は知れば知るほど奥深い。古本屋通い20年の著者が、古書を紹介しながら人生、生活を語る。

4 お勝手のあん ^{かって} 柴田よしき 著 ^{しばた}
^{しながわじゆく} 品川宿 ^{しにせ} の老舗宿屋 ^{やどや} 「紅屋」 ^{べにや} でお勝手 ^{じょちゆう} 女中 ^{みなら} 見習いとして働いている
おやす。料理人 ^{がしら} 頭の政一 ^{まさいち} さんや奉公人達の中で、女料理人として成長していく物語のシリーズ第1弾です。

5 あんの青春 春を待つころ お勝手のあん二 柴田よしき 著
宿屋「紅屋」のお勝手女中見習いのおやすは、毎日仕事に励んでいる。ある日おつかい先でおあつさんという武家のお嬢様らしい人と出会って、様々な人の生き方を知り、人としても成長していく。

録音図書貸出をご希望される方は、音訳事業部(電話 026-217-3201)までご連絡ください。



事業推進委員会だより

令和3年度会員事業費決算報告

収入の部	
会費収入	756,000(@4,000×189名分)
支出の部	
講習会お茶代	3,382
女性部研修会お茶代	1,160
情報機器講習会講師料	10,000
ヨガ体験会講師料	10,000
女性部研修会講師料	10,000
日視連女性協議会会費	5,000
日視連年会費	75,000
日視連青年協議会会費	18,000
日本盲人福祉委員会会費	15,000
日本愛盲シール委員会会費	16,000
日視連女性協議会会報購読料	750
全国女性協議会大会資料	1,000
点字講習会活動助成金	15,000
視障協だより、通知文郵送代	113,338
視障協だより印刷封入代	135,720
支部宛通知文印刷封入代	26,650
支出の部合計	456,000
収支差額	300,000

啓発広報部より

部長 藤森 吉明

令和4年度が始まり、コロナウイルスがなかなか収まらず、令和3年度には、思うように行事ができませんでしたが、今年度は各種事業がスムーズに行えるよう願っております。

例年の繰り返しではございますが、信濃の泉の原稿が少ないため苦勞をしております。何卒原稿のご協力を重ねてお願い申し上げます。

情報機器研究部より

部長 前野 弘美

日頃のご支援ご協力に感謝申し上げます。

本年度の情報機器講習会は令和4年8月21日(日)です。新型コロナウイルス感染拡大防止の状況により開催出来るかどうか何とも言えませんが、極力開催する心づもりでおりますので、皆さま是非ご予約に組み入れてご参加ください。

本年度の講習会で取り上げて欲しい事がありましたら前野または事務局までお寄せください。今の所zoomについての講習会を開いて欲しいとのご意見が有ります。ご希望は出来るだけ早くお知らせください。多くの皆さまと学びたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

前野弘美(☎ 080-1043-7315) 出ないときは留守番電話にコメントを残してください。



女 性 部 よ り

部長 住吉 冬子

皆様こんにちは。依然として、新型コロナウイルスへの不安を拭いきれない日々が続いていますが、私自身はというと、寒かった今年の冬も終わり、気持ちの良い暖かい春の陽気に心地よさを感じているこの頃です。

1. 支部長会について

3月に行う予定でした今年の支部長会ですが、昨年引き続き大変残念ではありましたが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえた結果、やむなく開催を断念いたしました。なお、毎年支部長会で取り扱っている議題につきましては、5月に開催を予定している総会にて報告させていただきたいと思っています。

2. 定期総会について

日時：5月29日(日) 11時～12時30分

場所：県視覚障害者福祉センター

受付：10時30分から

今回も昼食会は行いませんが、2019年以来の総会を開き、皆様と共に今後の行事予定や女性部のあり方等について気軽に話し合える時間を過ごせたらと考えています。詳しい事につきましては、開催日が近づきましたら役員を通してお知らせいたします。5月20日頃に、出席人数を取りまとめたいと思います。多くの方のご参加をよろしく願いいたします。

3. 第68回全国視覚障害女性研修大会(福島大会)について

期日：8月31日(水)～9月1日(木)

会場：福島県福島市

昨年の全国大会は、zoomを用いて全国を結んでのオンライン会議方式で行いました。主催者県としては、おそらく「今年こそ現地に集合

しての大会を」という前向きな気持ちで準備に当たられていると思います。実施方法や詳しい内容等が分かりましたら、総会などを通じて皆様にお知らせしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

4. 日視連会報「あかね」について

「あかね」は、毎年6月と11月にそれぞれ発行されます。今回は、「あかね 第115号」が、6月に発行予定です。テーマは、「心に残る旅の話・また行ってみたい所はどこですか?」です。原稿の締め切りは、いずれも発行月の一月前の20日頃となっています。思い出に残る旅の話などありましたら、是非お寄せください。

暖かくなったとはいえ、まだまだ朝晩と昼との気温差が大きいので、皆様くれぐれも体調に気を付けながらお過ごしください。

「弱視問題対策委員会」からの報告

坂田 和代

新年度も、コロナ禍でスタートしました。おうち時間が増えた方も多いかと思われます。なので、私もたくさんのメールに目を通しました。

弱視問題対策委員会というのは、令和元年度に設置されました。そして、弱視(ロービジョン)に関する困り事の解決を目指した活動を行っています。視覚障害者の生活が向上するための様々な働きかけを行う全国組織で、日本各地の視覚障害者からの要望を集約し、国や関係機関へ繋げる活動をしています。令和3年には、名称を「弱視部会」に変更し、通称名を「ロービジョン部会」に改正されました。

弱視部会で集めた情報は、国などへの要望活動に盛り込まれています。

例えば、道路や建物のバリアフリーや、移動等の円滑化推進方針のガイドライン、トイレの環境整備に関する調査、研究会などに要望が反映されています。

そして、弱視者と読書ということで、読書バリアフリー法について研修会とか、委員間での情報交換を活性化して更なる情報共有を目指し、自由に参加できるオンライン意見交換会も開催しています。

もし皆さんの中に、こういった様々な情報が欲しいという方がいらっしゃいましたら、県の事務局までメールでお申し出いただければ、情報メールをお送りすることができますので、ご利用下さい。

事務局メールアドレス：welcome@naganoken-shisyokyo.or.jp

プレゼントクイズコーナー

前号に引き続き、今号も懸賞クイズをご用意致しました。全問正解の方の中から、抽選で5名の方に、コンビニエンスストアで利用できるQUOカードをお一人様500円分プレゼントさせていただきますので、どしどしご応募ください。

1. 応募方法・・・事務局宛てにお電話で、回答をご連絡ください。
2. 応募締切日・・・6月30日(木)15:00まで
3. 当選発表・・・7月中旬に賞品の発送をし、次号視障協だより誌面にて当選者発表をさせていただきます。

今回は、5月にちなんだクイズです。いくつ知っているかな？
では、問題です

第1問：母の日は、どこの国からはじまったでしょう？

1. 日本
2. オーストラリア
3. アメリカ

第2問：日本で母の日を全国に広めた会社は、何を販売している会社でしょうか？

1. おもちゃ
2. お花
3. お菓子

第3問：5月5日の「端午の節句」。別名を何というでしょう？

1. 兜の節句
2. 菖蒲の節句
3. 吹き流しの節句

第4問：小満の時季、西日本では「走り梅雨」がみられます。「走り梅雨」とは何のことでしょう？

1. 本格的な梅雨に入る前のぐずつく天候のこと
2. ぐずついた天気と晴れの日が繰り返される天候のこと
3. 土砂降りの雨がしばらく続く天候のこと

第5問：2007年(平成19年)に「みどりの日」は、4月29日から5月4日へ変更になりましたが、変更になる前から5月4日は祝日でした。それは、何の日だったのでしょうか？

★2月号のプレゼントクイズコーナー当選者発表★

2月号視障協だよりメール・誌面で実施しました「プレゼントクイズコーナー」にご応募をいただいた皆様、ありがとうございます。

厳正なる抽選の結果、2月号の当選者は松本支部の菅沢^{すげさわ れいこ}禮子さん、
住吉^{すみよし ふゆこ}冬子さんとなりました。おめでとうございます！

【前回の答え】

第1問. ②しゃべらない

恵方を向き、1本丸ごと全部を食べきるまで1言もしゃべらずに黙々と食べ続けます。

第2問. ②季節を分ける日

節分とは季節を分けるという意味で「立春、立夏、立秋、立冬」の前日ことをいいます。この中でも立春は、冬から春に変わる1年の始まりとされ重要な日でした。そのため現在では立春の前日を節分というようになりました。

第3問. ②イタリア

バレンタインの起源は、ローマ帝国の時代まで遡ります。

ローマ皇帝クラウディウスは、「若者が戦争に行きたがらないのは、愛する者のそばを離れたくないからだ」と考え、結婚を禁止してしまいました。

それを気の毒に思ったヴァレンティヌスという司祭は、こっそり若者たちの結婚式を行っていました。

やがてそれは皇帝の耳にも入り、彼は「結婚式をさせないように

に」と皇帝から命令されました。

しかし、彼はそれに従わなかったため皇帝の怒りを買って、2月14日に処刑されてしまいました。

このことからヴァレンティヌスが、聖バレンタインとして敬われるようになったのがバレンタインの始まりです。

第4問. ③森永製菓

ミルクチョコレートとは、その名の通り乳製品を加えて作ったチョコレートです。

日本初のミルクチョコレートは、1918年（大正7年）に森永製菓が発売したものです。

第5問. ②製造過程でチョコレートを冷やしやすくするため

溝をつくることで表面積が増え、製造過程でチョコレートが冷えやすくなります。

また、溝があることでチョコレートを型から取り外しやすくなります。

溝があると割りやすいのは、単なる副産物的な効果に過ぎません。

訃 報

謹んでご冥福をお祈りいたします。

いけだ かいち
池田嘉一 様(上田支部) 令和4年3月5日

に、お亡くなりになりました。